

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2022年3月3日発行  
第10号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし

槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かって剣を上げず

もはや戦うことを学ばない。

ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。

### イザヤ書 2章4・5節

朝の厳しい寒さの中でも、日差しには春の到来を感じます。生徒の一生懸命な歩み、ご家庭の温かい見守りの中で、今年度も残りひと月となりました。

2月9・10日には、文化祭が行われました。コロナ禍の中で、安全への配慮を第一にしながら、生徒たちのやり遂げる思いがつながりあい、とても素晴らしい2日間となりました。保護者の方も、希望者による参観をしていただきましたが、生徒の思いが伝わったでしょうか。

また、15日には、中学はオラトリカルコンテスト、高校は球技大会がありました。オラトリカルコンテストでは、発表者とそれを聴く生徒たちの真剣さの満ちた時となりました。球技大会では、大歓声となる所を拍手のみの応援となりましたが、クラスで団結する心地よい時となりました。高校3年生は、入試に臨む緊張し集中する毎が続きます。

さて、2月24日に、ロシアによるウクライナ侵攻が起きました。ロシアのプーチン大統領による核兵器を使用するとの威嚇がありました。衝撃を受けています。

サーロー節子さんがノーベル平和賞受賞式でスピーチをされた一部を抜粋します。  
『私は13歳の少女だったときに、くすぶるがれきの中にとらえられながら、前に進み続け、光に向かって動き続けました。そして生き残りました。今、わたしたちの光は核兵器禁止条約です。この会場にいるすべての皆さんと、これを聞いている世界中のすべての皆さんに対して、広島の廃墟の中で私が聞いた言葉をくり返したいと思います。「あきらめるな！（がれきを）押し続けろ！動き続けろ！光が見えるだろう？そこに向かってはっていけ！』

大切だと思うことを、丁寧に、あきらめず、取り組み続けましょう。

(校長)



## 中学入試・新入生オリエンテーションについて

1月22日(土)に、中学入試が行なわれました。新型コロナウイルスの感染者数が増加している中での入試でしたが、無事終えることができました。

中3・高2の生徒たちは入試準備で教室をきれいに掃除してくれ、気持ちの良い環境を整えてくれました。受験生が安心して試験に臨めるよう働いてくれた生徒の皆さん、心から感謝します。

合格発表の後、2月5日(土)第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、19日(土)の第2回オリエンテーションを終え、新入生はいよいよ4月7日(木)の入学の日を待つばかりとなりました。在校生の皆さん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

(中学教頭)

## 2年ぶりの文化祭

今年の文化祭は、コロナ禍の影響を避けて例年の11月ではなく、2月に開催されました。私達3年生は1年生のときには文化祭に参加したものの、昨年コロナ禍で文化祭が代替発表会となったため、五人委員としては初めての文化祭を体験しました。

例年の文化祭とは違って他校の生徒は参加できず、生徒以外の参加が保護者のみに限られていたので、一昨年より寂しいものになると思っていたのですが、どの生徒もコロナ禍に負けないよう盛り上げてくれたおかげで、さらに活気を増した文化祭になったように感じました。我々五人委員会も、生徒が多くの発表を見たくなるよう、スタンプラリーを企画しました。参加してくださった方には抽選で素敵なプレゼントを贈りました。

この文化祭は生徒1人1人の協力がなければなりません。そして文化祭のために動いてくださった先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。皆さん、コロナ禍の中でも精一杯工夫してくださり、楽しい文化祭をありがとうございました。来年はコロナも収束して、より楽しい文化祭が開催されることを願っています。

(中学五人委員)



## フェリス女学院碑巡り案内

2月11日(金)にフェリス女学院高校と本校の高校生がオンラインで交流会を開催しました。フェリスの皆さんは平和学習のために毎年2月上旬に広島を訪れるのですが、今年はコロナの影響によりオンラインで交流しました。

本校生徒が平和公園の慰霊碑を紹介する「碑めぐり動画」を作成し、フェリス生の皆さんが事前にその動画を視聴した上で、オンライン上で意見交換しました。「平和とは何か」、「自分たちは平和のために何ができるか」、「広島や横浜での平和学習の違いについて」、「広島の人たちは原爆の惨禍をどのように捉えているのか」など率直な意見交換ができていました。

その意見交換に備えて、本校生徒はEPなどで事前学習に励み、核兵器禁止条約について学び、自分たちの平和観を再考する貴重な機会を得ることができました。来年度は直接フェリスの皆さんに碑めぐり案内をして、意見交換をする機会があることを願います。

(GEC)

## じょがく in Love♡

2月11日(金)に開催予定でした冬のオープンスクール「じょがく in Love♡」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで行うことになりました。女学院アンバサダーの生徒達と2学期後半から準備を進めてきましたので、小学生に直接学校へ来てもらうことができなくなり非常に残念ではありましたが、オンライン配信に向けて11日に撮影を行いました。小学生のみなさんに学校に来てもらうことができなくなった分、たくさんのコンテンツを用意して、女学院を知ってもらえるように工夫しました。実は私たちの生活の身近にある讃美歌の紹介や、オラトリカル



コンテストのスピーチ再現、直前に開催した文化祭の様子を紹介する動画など、盛りだくさんな内容になりました。文化祭の実施と重なり、女学院アンバサダーの生徒達はとても忙しい中での準備になりましたが、礼拝体験の動画を作成するために感話の原稿を小学生に伝わりやすいよう何度も考えたり、小学生のみなさんが女学院での学校生活を想像しやすいように校内案内動画なども盛り込みました。きっと「実際に学校へ行ってみたい！」と思ってくれるような内容に仕上がったと思います。

来年こそぜひ小学生のみなさんに学校へ遊びに来てもらい、女学院アンバサダーをはじめ多くの女学院生が小学生のみなさんと会って、直接女学院の魅力を伝えることができればと思います。(広報部)

## 中学英語オラトリカルコンテスト

2月15日(火)に第46回オラトリカルコンテストが行われました。中1、2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はそれぞれのテーマでスピーチを発表しました。今年は、2年ぶりに3学年がホールに集まることができました。

各クラスの代表者は一様に緊張した面持ちでしたが、練習した成果を発揮し、レベルの高い暗唱やスピーチを披露しました。聞く側の生徒も時に笑いが起きたり、嘆息を漏らすなど、真剣に聞いていることが伝わってきました。MC(進行役)の中3生はコンテストが円滑に進むよう練習に励んだだけでなく、楽しいクイズでコンテストを盛り上げてくれました。

Model Speechとして高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論大会で全国1位とワールド・ファミリー賞に輝いた中3のJ. Sさんが“Say My Name”を発表。お手本となる内容、英語を披露することで今回のコンテストに華を添えてくれました。受賞者は以下の通りです。

**中1**  
1位 T. S (1-3)  
2位 K. R (1-2)  
2位 K. S (1-3)  
3位 W. M (1-2)

**中3**  
1位 K. R (3-1)  
2位 W. M (3-5)  
2位 F. M (3-2)  
3位 S. Y (3-5)

**中2**  
1位 K. K (2-5)  
2位 T. M (2-2)  
2位 O. Y (2-4)  
3位 D. K (2-5)

**インターナショナル部門**  
1位 N. T (1-5)  
敢闘賞 K. C (3-4)

(英語科)

## 2022 年度中学生徒会役員 選挙結果

五人委員は、次の人たちが承認されました。

五人委員    2年1組 A. Y  
                  2年3組 N. M  
                  2年3組 T. S  
                  1年1組 K. K  
                  1年3組 K. M



今年度も学校行事などはコロナウイルスで制限を受けましたが、来年度は多くの行事が実施できること、五人委員にはリーダーシップを発揮し、生徒会および女学院を盛り上げていってくれることを期待しています。  
(中学選挙管理委員会顧問)

## 2022 年度高校生徒会執行委員 選挙結果

2月に行われた選挙によって、来年度新高1の生徒会執行委員は以下の5名に決まりました。先輩方と力を合わせ、来年度も生徒会行事を運営していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3年1組 H. Y  
3年2組 M. E  
3年3組 M. R  
3年3組 Y. Y  
3年4組 S. A

(高校生徒会顧問)

## 保健室だより(10)

今年も花粉症の季節がやってきました。皆様の体調はいかがでしょう。保健室では2月中旬頃から花粉症の症状を訴える生徒が増えてきたように感じます。花粉症とは、植物の花粉が原因で起こるアレルギー症状のことです。症状は、主にくしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみといったものです。風邪症状との大きな違いは、花粉症では発熱がほとんどなく、花粉の飛んでいる時期のみ症状が現れることです。



また、鼻水にも違いがあり、風邪症状の場合は、粘り気があり黄色っぽいですが、花粉症では、サラサラとしていて透明な色をしています。めがねやマスクを身に着け、花粉を体内に入れないことが予防に効果的です。また、常に頭は外に出ているため、なるべくつばの広い帽子をかぶることで体へ付着する表面積を減らすこともできます。これまで続けている新型コロナウイルス感染防止同様、手洗いうがい等を行い、体調を整えましょう。

高校3年生は卒業礼拝を迎えました。心身ともに健康に過ごすために周りの家族や友人を大切に新たな一步を踏み出してください。きっと今近くにいてくれる人は自分の生活をよりよいものにしてくれます。  
(保健室)

## 心の健康(10)

いよいよ学年末の3月です。3月は前半が期末テスト、後半は春休み。状況がガラッと変わります。また今の学年が終わって新しい学年に進み、季節は冬から春へと移ります。

このように3月は月半ばで状況が変わり、1年を通してみると「変わり目」の時です。変わり目を境とした状況の変化は人にとって大いにストレスとなります。

先日、あるお母さんから「学校のテストが終わった日に、子どもの好きなケーキを買って家族で食べるんですよ」というお話を伺いました。定例になっている楽しみだそうです。変わり目を上手に過ごす行事だと思いました。

「変わり目」はストレスがかかり、心が揺れるので切り替えの行動が必要です。また、まとめと準備の意味もありますので、節目をキチンと意識した生活は心の健康にとって大切なことです。実際のプランは各家庭に任されています。ひと工夫してみましょう。(カウンセラー)

## 留学生スピーチ

11月から留学生としてスリランカから来てくださったM. D. Jさんのお別れのスピーチです。

これが私の女学院での最後のスピーチです。皆さんとお別れするのがかなしいので本当はこのスピーチはしたくありませんが、皆さんと一緒に過ごした半年間という短い時間の思い出と皆さんへの感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私は子供のとき日本のスポーツカーのCMを見て、えっ!かっこいいねって思っって日本の文化や技術に興味を持っていつか日本に留学してみたいと思いました。両親と一緒にする普通の旅行より一人でする留学は私のしょうらいにとって大切な経験になると思ったからです。

本当だったら四月に来る予定でしたがコロナの影響で来られるのが五ヶ月も遅くなりました。いつ日本に行けるか不安で何もする気がありませんでした。そして十月にやっと来られるようになって嬉しくてたまらなかったです。

日本に留学して日本のホストファミリーと一緒に過ごして日本の学校に通った留学は普通の旅行よりぜんぜん違いました。たくさんある面白そうな部活から卓球を選んだり、忙しい日本のママとパパのために自分にどんなお手伝いをできるか考えたり、自分でフレキシブルに対応したりしてとてもきちょうな経験ができました。私にとっての一番大切な自由で幸せな生活は、私は女学院に来てみつけました。私は女学院に来てとても幸せです。本当にそれは女学院の先生方とお友達の皆さんのおかげです。ありがとうございます。

今まで皆さんと一緒に過ごした時間は半年間ほどの短い時間だったけど、本当に言葉で気持ちがあらわせないほどすごく楽しかったです。たくさん思い出があります。

(M. D. J)

## 生徒の活躍

◇第28回中国地区書き初め大会

〈中学〉特選受賞者 N. S(1-1)、S. R(1-1)

秀作賞受賞者 W. M(2-1)、S. M(2-2)

〈高校〉特選受賞者 N. K(1-C)





## 教職員の動向

○聖書科の矢野一郎先生が2月14日にご逝去されました。  
ご家族の上に神様の慰めがございましたようお祈りいたします。

○聖書科の刀祢館先生のご母堂様が1月21日に、ご夫君様、本校元教諭 川田悟先生が2月23日にご逝去されました。ご家族の上に神様の慰めがございましたようお祈りいたします。



### 今月の聖句

どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

(フィリピの信徒への手紙4章6～7節)

大きなことを成し遂げるために力を与えてほしいと神に求めたのに、  
謙遜を学ぶように弱いものとされた。

より偉大なことができるように健康を求めたのに、  
よりよいことができるようにと病気をいただいた。

幸せになろうとして富を求めたのに、  
賢明であるようにと貧しさを授かった。

世の中の人々の称賛を得ようとして成功を求めたのに、  
神を求め続けるようにと弱さを授かった。

人生を享楽しようあらゆるものを求めたのに、  
あらゆることを喜べるようにと命を授かった。

求めたものは一つとして与えられなかったが、  
願いはすべて聞き届けられた。

神の意に添わぬものであるにもかかわらず、  
心の中の言い表せない祈りはすべて叶えられた。

私はあらゆる人の中で最も豊かに祝福されたのだ。 (渡辺和子 訳)

3月2日から、教会暦では「レント(受難節)」に入ります。「イースター(復活節)

(今年は4月17日)までの6週間、イエスの十字架の受難を心に覚える季節です。受難を通してこそ救いに至るという聖書のメッセージは、私たちにとって避けられない人生の苦難の意味を、違った視点から捉え直させてくれます。

(聖書科 T.M)

## 3月の行事予定

1	火	(高)卒業礼拝(中1・2・3、高1・2休日)
2	水	レント(受難節～4/16)
3	木	(中3)期末テスト <b>1限8:55～</b>
4	金	期末テスト(高1・2)
5	土	(中1) <b>1限8:55～15分休憩</b> (中2)3限まで(終)
6	日	
7	月	(中3)午前出校日 (中2) <b>1限8:55～15分休憩</b> <b>1限8:55～15分休憩</b> (中3)遠足
8	火	教科書販売(高1・2) 公立大学中期日程開始
9	水	自宅学習日 高1ステイサポート 高2代ゼミ共通テスト
10	木	テスト返却 <b>1限8:55～</b> 教科書販売(中3)
11	金	<b>1限8:55～</b>
12	土	国立公立大学後期日程入試開始
13	日	
14	月	特別時間割 <b>1限8:55～</b>
15	火	期末テスト素点確認 課題研究発表会
16	水	中3・高1ダンス発表 中1・2個人写真 中3副教材販売 <span style="color: blue;">[NC]</span>
17	木	
18	金	終業の日 (中)卒業礼拝
19	土	高2GI研修旅行
20	日	
21	月	春分の日、Job!体験教室
22	火	グローバルウィーク 高2補習
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

